

# スクリーニング評価の実施状況

○これまでに5回の合同審議会において、旧法の第二種及び第三種監視化学物質を含め一般化学物質のスクリーニング評価を実施し、優先評価化学物質相当の物質の判定を行っている。

	平成22年度 (平成23年1月 審議)		平成23年度 (平成24年1月 審議)		平成24年度 (平成24年7月 審議)		平成25年度 (平成25年7月 審議)		平成26年度 (平成26年11月 審議)	
	人健康	生態	人健康	生態	人健康	生態	人健康	生態	人健康	生態
評価対象の 物質区分	旧二監	旧三監	一般化学物質 の一部		届出のあった全ての一般化学物質					
曝露情報	平成21年度 実績		平成22年度 実績		平成22年度 実績		平成23年度 実績		平成24年度 実績	
有害性情報	二監・三監の 判定根拠		OECD/HPV 判定根拠など		国が保有している・収集した情報で 信頼性等が確認できたもの					
評価単位物質	682 物質	212 物質	109 物質	275 物質	10,792 物質		11,979 物質		11,897 物質	
製造輸入数量 10t超 【評価対象物質】	447 物質	166 物質	101 物質	188 物質	7,054 物質		7,819 物質		7,699 物質	
優先評価 化学物質 相当	88 物質		8 物質		46 物質		40 物質		14 物質	
	75 物質	20 物質	6 物質	4 物質	31 物質	21 物質	17 物質	23 物質	1 物質	13 物質

(平成27年4月1日現在)